

# 1人1台端末の環境下の実践について ～教育クラウドの活用とデバイスの持ち帰りについて～

## 1. 生徒や保護者への教育クラウドの活用方法をどのように示すか

### 1) はじめに出すものは「ルール」でなく「心得・めあて」などの形で示す

- 生徒たちが自分たちで考える余地を残しておく。生徒・教員・保護者が一緒に考えていくというスタンスを大事にする。
- システムやアプリはどんどん変化していくため、細かいルールを作成してもすぐに改定する必要が出てくる。また、ルールの形で示すと「ルールだけ守れば良い」という意識につながる危険性もある。

[実践例] (諏訪清陵附属中学校)

★ ICTの心得 大事にしたい3つのS (別紙1「大事にしたい3つのS」参照)

Study (学習のために使おう) Safety (安全に使おう) Self-control (自制心を磨こう)

★ ICT管理局の設置

有志生徒で組織(別紙2「ICT管理局の設置と募集」)。ICT機器活用のよりよい使用を促進。

### 2) 細かい注意事項は定期的に通知する。情報モラル教育の実施。

- 「心得・めあて」だけだと、生徒たちは具体的に何に気をつければよいかイメージしにくいので、具体的な注意事項を通知する(別紙3「具体的な注意事項」参照)。また、情報モラル教育の実施や電子メディアの扱い方の講演会などを実施していく。

### 3) アカウント情報は生徒・保護者両方へ通知

- アカウント情報については、生徒だけでなく保護者にも通知し、協力を求める。
- アカウントは、生徒に「貸し出されたもの」であることを明記する。
- 「心得・めあて」や「注意事項」などは生徒と保護者両方に通知する。

### 4) デバイス(Chromebook)の持ち帰りについて

- 学習のために持ち帰りを希望する生徒は、事前に借用願いを提出し、教員の上承を得る。
- 家庭での使用のルールは、学校で使用するときと同じ。→「大事にしたい3つのS」

## 2. 教員への教育クラウドの活用方法をどのように示すか

### 1) ICT機器を使用して何をねらうのか 教員の中で共通認識する

- 「心得・ねらい」のような形で示し、活用の方向性に迷った時に、この考えに立ち戻る。

[実践例] (諏訪清陵附属中学校)

「ICT機器の活用は、子どもの力を伸ばすための『手段』です」

「1人1台全員で使用しなければならない」という意識をやめる。「1人1台用意してある。使うべきと思った時にいつでも使える状態」という意識で授業をする。

- ICT機器の活用方法はたくさんありすぎる。学校の中で「ねらっていくところ」を具体的に示す。

[実践例] (諏訪清陵附属中学校)

「基本的な知識や技能をより確実に効率的に習得するためのICTの活用」

「思考力、判断力、表現力等を育成するためのICTの活用」

「生徒の主体的な学びや個別最適化を促進するICT機器の活用」

### 2) 教育クラウドに保存していいものと保存してはいけないもの周知する

- 成績や生徒の個人の情報などのセキュリティーレベル2B以上のものは教育用クラウドを使用しない。
- 授業などの評価のもととなる資料(生徒の学習カードや小テスト)を教育クラウドを使って回収した場合、それらの資料を使って成績処理をするのは、校務支援システムで行う。教育クラウド上で成績処理を行わない。

「課題」はたくさんある。それらを「やらない理由」にするのではなく「超えるべきハードル」と考える。

## 運用する中で起こったトラブル

### 1. 起こったトラブルについて

- 1) 学校、家庭での使用ともにデバイスの大きな破損はない。運搬中や授業中に机からデバイスが何回か落下しているが、大きな破損はない。

[対応]

使用時は机上を整理してから使用するよう声をかけている。学校の備品なので、破損させてしまった時は「破損届」の提出をしてもらう。他の学校の備品を壊してしまった時と同じ対応を準備している。

- 2) 「ユーザー補助設定」でマウスのポインタの大きさ等を変更すると、別のアカウントでログインしても設定がそのままになっていると生徒から申し出があった。

[対応]

ICT管理局から全校に「みんなで使うChromebookだから設定を変えるのはやめてください」という連絡をもらった。現在、設定の変更で困るという話はなくなった。よい指導の機会となった。また、生徒たちの中での自浄作用を促進する動きにつなげることができた。

- 3) マウス、イヤホンなどのアクセサリの持ち込み授業中に使っている。どのように指導したらよいか、と教員の中から質問がでた。

[対応]

「大事にしたい3つのS」を大事に「目指している方向性と合わないような使い方が出た場合は使用を規制する話がでてくる。そういう話がでないようにしましょう。本当の意味でICT機器が使える学校を目指そう」という指導を行ってきたが、ICT管理局の生徒からは使用をする場面など考えていく必要があるという意見があがっている。

また、ICT総合的な学習の時間や探究的学習で、家庭で使っているPCなどを学校に持ってくるという場合は、持ち込みの申請書を提出してもらうようにした。

- 4) ファイルの共有などによるトラブル。知らない生徒からファイルの共有がきて、内容もよく分からないものでびっくりした等。

[対応]

だれがどのようなファイルを共有したのか分かるので、ファイル共有をかけた生徒に直接話を聞き、指導を行った。

- 5) 共有フォルダに提出した課題が消されてしまった。

[対応]

共有フォルダの作業履歴を確認し、誰が消去したのか確認した。該当生徒に直接確認し指導を行った。

- 6) 休み時間に、YouTube等を見ていて次の授業に遅刻する生徒がいた。

[対応]

ICT管理局から全校にChromebookの使用について、お昼の放送で話をもらった。その後、使用の様子は改善された。継続して使用の仕方については、生徒と教員で情報を共有しながら考えていく。

### 2. 今後の方向

- 1) クラウド内でのトラブルについては、トラブルの原因を学校が把握しやすい。そのため、大きなトラブルになる前に、スキル面・モラル面ともに指導したり、話をするよい機会となる。生徒たちで組織する「ICT管理局」を中心に、生徒の中での自浄作用を高めていく。
- 2) 学校でICT機器の使い方について学び、それをプライベートでのICT機器の使い方につなげていく。スマホの使い方など、従来は映像教材や講演会に頼るだけだったが、学校でのICT機器の使い方をプライベートへもつなげていきたい。
- 3) 生活リズムや健康面への影響についても扱い、使用を自分でコントロールできるようにしていく。
- 4) 「ICT機器は学習で使うとすごく良い!」と思える生徒を育てていく。ICT機器を学びに使うと便利であることを実感させ、「ICT機器=遊び」というイメージ以上に「ICT機器=学び」というイメージが強くなるようにしていきたい。
- 5) アカウントとパスワードの管理の徹底。(ログアウトを確実に行う等)  
機密データの管理。(ドライブに機密データを保存しない等)

## 大事にしたい3つのS

～ Study ・ Safety ・ Self-control ～

学習

安全

自制心

### **Study (学習のために使おう)**

「学習のために ICT を使おう」

OECD（経済協力開発機構）の国々を対象に行った調査では、日本は、授業で ICT 機器が使えてない国 1 位、ICT 機器をゲームやチャットに使用する国 1 位。そのような結果がでています。この結果に心当たりがある…と思う人もいるかもしれません。学校にある ICT 機器は、学習のために使うものということをまず確認しておきます。そして、**学習のために ICT が使える日本一の学校**を目指します！

学習用に 1 人 1 人に Google アカウント（簡単に言えば「Google のサービスを使うための会員証のようなもの」）を作成しました。教育用ということで、本来有料のアプリやサービスが無料で使えるようになっています。そのアカウントを皆さんに貸し出します。学習に関係のない個人的なデータを保存したり、アプリ（YouTube など）やサービスを自分のお楽しみで使ったりしないでください。「**Google アカウントは、学校があなたに貸しているもの**」ということを忘れないように。

管理上、学校側で皆さんが保存しているファイルや使ったアプリやサービスなど確認できるようになっています。人に見られているからではなく、自分の意思で学習のために ICT 機器を使用できるようになってください。

### **Safety (安全に使おう)**

「安全に使えない人は、使わない」

ICT 機器は便利ですが、同時に危険性をもっています。

使い方を間違えれば、人に悲しい思いをさせたり、大事な情報が流出してしまったりすることにつながります。また、成長期の皆さんにとって、長時間の使用は健康や健全な発育に悪影響を及ぼします。

**安全に使えない人には、使用をやめてもらいます。**そして、安全に使えるようにしっかりと指導させてもらいます。安全に使えるようになったら、また ICT を使って一緒に勉強しましょう。

### **Self-control (自制心を磨こう)**

「ICT 機器をしっかりと使うための自制心を磨こう」

いつでも、どこでも、誰とでも、何でも・・・ ICT 機器は便利です。便利だからこそ、使う時間、場所を選んだり、相手や自分のことを考えたりすることが大事です。ICT 機器の便利さや魅力に流されずに、**ICT 機器を上手に使いこなせる人**を目指しましょう。

学校での ICT 機器の適切な使用を通して、学校外での適切な使用も学んでほしいと思います。

# 「ICT管理局」の設置 と 局員の募集

## 1. 「ICT管理局」が目指すところ

- ICT機器の管理と運用を生徒と教師で協力して行う組織を目指す。ICT機器の管理と運用を生徒による「自治」の形でできる方法を探っていく。
- 遊びではなく、学びにICTを効果的に使い、教師1人1人、生徒1人1人が大きく成長できる学校を目指す。（清陵中は「ICTを遊びではなく、学びに使える日本一の中学校」と呼ばれるくらい）

## 2. ICT管理局の局員募集の条件

### 【必須条件】

- この組織の目指すところに賛同できる人
- やるべきこと（宿題、係や学友会の仕事など）を行った上で、ICT管理局の仕事ができる人

### 【下の2つのうち両方 または いずれか】

- 清陵中の「自治」の精神をもっと高めたいと強く思っている人
- プログラミングなどICT機器に関する知識や技術があり、モラルやリテラシーの向上に関心が高い人

★ICT管理局への応募には、ひとりで来て下さい。学友会や学級の係の仕事の上に、まだ仕事をしてもらいます。大変な仕事なので、きちんと「自分で」決意してからくるようにしてください。

## 3. 注意事項

- やるべきこと（宿題、学友会の仕事など）が優先。係や学友会の仕事などをやらないで、ICT管理局の仕事をやることがないようにしてください。
- ICT機器の使用について、特別な権利（優先的に使える等）が与えられるわけではありません。
- やってみて係や学友会の仕事との両立が大変なようでしたら、ICT管理局を辞めてもらうようにします。

## 4. 申し込み方法（質問なども）

- この話を聞いて、「ICT管理局」の仕事をやってみたい（やることができる）という人は、1人で職員室の「ICT管理局の担当の先生」まで来てください。

〆切：7月3日（金）まで

※ ICT管理局の担当の先生は、各学年にいます。

職員室にきて「ICT管理局への申込みできました！」と言ってください。

（先生の方でも今、担当の先生を決めている最中です。）

# 「ICT管理局」の仕事

現在、3つほど考えています。やっていく中で必要な仕事がまたでてくるかもしれません。

- **Chromebook貸出管理システムづくり**

学習や学友会活動、部活動などで朝や放課後の時間にChromebookを活用する姿もでてきました。

現在、先生方が貸し出しなどを対応していますが、これも先生と生徒みんなでやっていく方がはるかに便利に使えますと思います。朝や放課後にChromebookを効果的に使いこなす人たちがあふれる学校になったらいいなと思っています。

使いやすい貸出管理システムづくりを考え、運用していく仕事です。

- **よりよいICT機器の使用の仕方の啓発活動**

Chromebookを1ヶ月ほど活用してきて、以下のような様子を見て、直していった方がいいのではないかという話が皆さんの中から上がってきています。

- ・「Chromebookの設定を前の人を変えてしまっていて、使いづらい。設定が戻せない。」
- ・「活動とは関係のないアプリを使ったりホームページを見ている人がいる」
- ・「共同作業などで、ふざげて人が書いたことを消したり、関係のないことを書き込んだりする」

こういう姿に対して、皆さんの中から声があがってくることはとてもよいことだと思っています。

今後も直した方がよいことが色々でてくると思います。そこを皆さんの手でやっていってもらいたいです。

- **MEET全校集会時のICT機器の準備**

講義室等のChromebook（Seiryō J-base）やクラスのChromebookを準備する仕事です。

現在、先生方がChromebookでのMEETの設定などをやっています。これも皆さんの手でやれるようになればよいと思っています。

# ICT管理局 申込書

- 記入日 2020年\_\_\_\_月\_\_\_\_日
- クラス・名前 \_\_\_\_\_年\_\_\_\_組\_\_\_\_番 名前\_\_\_\_\_
- 所属学友会 \_\_\_\_\_委員会
- 学友会での当番活動などがあつたら書いてください。（当番がある曜日や仕事内容など）

- 所属部活動 \_\_\_\_\_部
- 朝や放課後などに当番活動がはいつてきます。日常生活にあまり支障がでないように配慮していきたいと思っています。

朝は何時頃に登校していますか？ \_\_\_\_\_時\_\_\_\_\_分ごろに登校している

放課後に活動できない曜日などがあつたら教えてください。

- 以下の質問に答えてください。  
「情報管理局にはいったら、仕事が増えるのになぜICT管理局の仕事をやろうと思ったのですか？」

「ICT管理局の仕事によって、清陵中のICTの活用状況が1年後どうなっていればよいと思いますか？」

「ICT管理局の仕事と学友会の仕事とかぶった場合、あなたはどのような対応をとりますか？」

先生方へ

先週の職員連絡会で確認した通り、有志生徒で組織する「ICT管理局」の局員の募集をかけたいと思います。

- ・「ICT管理局」の設置 と 局員の募集
- ・「ICT管理局」の仕事

を、学活などの時間に扱ってもらい、ICT管理局の募集を行ってください。

ICT管理局をやってみたいという生徒は7月3日（金）までに、職員室へきて、申込書を書いて提出してもらいます。

申込書の受け取りは、ICT管理局担当の先生にやってもらうので、各学年で担当の先生を決めておいてください。

# ICT 機器 上手に使えているかな？

No. 1

2020/04/06

Study (学習のために使おう) Safety (安全に使おう) Self-control (自制心を磨こう)

## あなたの Google アカウントは、 学校があなたに貸し出したもの

この Google アカウント  
を使って行った作業は、  
「あなた」ではなく「諏  
訪清陵高等学校附属中  
学校」が行った作業にな  
ります。



看板、背負ってます！

## パスワードの管理を しっかり行うこと

パスワードは、自分の名前、生年月日など分  
かりやすいものにしない。

パスワードを書いたメモを、  
見える場所に  
貼るなどしない。



大切な情報を守りましょう

## 写真撮影は慎重に

肖像権と個人情報を大切に扱うために、写  
真撮影を行う場合は、友達の顔など写らな  
いものにしてください。

撮影して大丈夫？

Chromebook では、クラウド  
への保存が基本となるので、  
写真の扱いについては慎重に  
進めていきたいと思います。



## 借りた人が責任をもつ

今後、授業中だけでなく、朝や放課後に個  
人への chromebook 貸し出しができるように  
していきます。借りた人が責任を持って管  
理してください。返却も借りた人が行うよ  
うにしてください。

みんなの chromebook です

また、借りた人以外が使  
用することがないように  
してください。



## 夜、遅くまで使わない

クラウドでのファイル管理が可能になるの  
で、家のパソコンなどを使って資料をまとめ  
る等できます。しかし、夜遅くまで使用す  
ると、次の日の学習に支障をきたしますし、  
健康面についても心配があり  
ます。家庭で長時間パソコン  
を使うような課題を学校から  
出すことはしません。

夜遅くまでやるのは  
本末転倒ですよ



## アプリなどを学習に使う 個人的な楽しみに使わない

YouTube や G-mail など使用アプリに制限をか  
けていませんが、学習に使用したい場合は、担  
任の先生か情報担当の先生に申し出て下さい。  
一緒に効果的な使用方  
法を考えていきたいと  
思います。

学習に使います！

